

## 「かるクリン」を抗菌・消毒剤としてご使用の場合

溶液の作り方： 「かるクリン」一包（5g）を 500cc～1リットルの水、または温湯に入れ、よくかき混ぜます。  
かき混ぜるには木材や樹脂のヘラをお使いください。白い粉末はほとんど溶けずに残りますが、  
それで問題なくアルカリ性溶液として使用できます。

- ＊ 注意：1. 溶液は強アルカリ性になりますので、溶液を作る時はアルカリに弱い 鉄、銅、真鍮、アルミニウム、ポリカーボネートなどの容器は避け、ポリエチレン（PE）、ポリプロピレン（PP）などのプラスチック容器を使って下さい。ステンレスは短時間（1～2時間程度）であれば影響は受けませんが、長時間触れ続けると腐食の原因になりますので注意が必要です。
2. 使用時は必ずゴム手袋等をはめ、直接肌に触れないようにして下さい。目に入る事が一番危険ですので、出来ればゴーグルなどの保護眼鏡を付けて下さい。
3. 「かるクリン」の溶液は手指、肌等の消毒には使えません。肌荒れや、皮膚炎の原因になりますので、絶対に人体には使用しないで下さい。
4. アルカリに弱い真珠・珊瑚・象牙・マラカイト等、有機質の宝石や、真鍮・銅・マグネシウム・アルミ大理石・御影石などには 使用しないでください。また、ガラスは短時間であればそれほど影響はありませんが、何回も繰り返し使ったり何時間も漬け込んだりすると表面が溶けて曇ってしまいますのでお気をつけ下さい。
5. 溶液のアルカリ分は時間が経つにつれて弱くなっていきます。溶液を作ったらなるべく早く（出来れば1～2日のうちに）使い切ってください。

### ＊ 拭き掃除をする場合

上澄みの溶液を布等に含ませ、消毒したい箇所を拭き、そのまま乾燥させて下さい。  
あとに「かるクリン」の白い粉末が残る事がありますが、乾燥すればPH値はほぼ中性に戻りますので乾いた布で拭き取るか、ブラシ等で払い落として下さい。

### ＊ スプレーする場合

溶液を市販の汎用スプレーボトルにつめます。  
スプレーボトルは出来れば「アルコール用」となっている腐食や浸透に強い材質のものをお使いください。  
また、なるべく噴射穴の大きなものをお選びください。  
「かるクリン」の粉末は15ミクロンほどの微粒子ですが、噴射穴が目詰まりする場合があります。  
噴射穴の大きなスプレーボトルが用意出来ない場合は、溶液をコーヒーフィルター等で漉してお使いください。  
スプレーボトルにつめた溶液を消毒したいところに噴霧し、乾燥させて下さい。  
あとに「かるクリン」の白い粉末が残る事がありますので、乾いた布で拭き取るか、ブラシ等で払い落として下さい。

### ＊ 布地を消毒する場合

アルカリ性に弱い毛（ウール）、絹（シルク）、アセテート製の被服、製品には使用しないで下さい。  
その他の天然繊維、化学繊維にはご使用になれます。  
布地を消毒する場合は、布地が湿る程度にスプレーして、乾燥させる事をおすすめします。  
直接溶液に浸して消毒することも出来ませんが、溶液を絞ったりする時に飛び散る事がありますので充分注意して下さい。